

# 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

## 国語

### 本校の概要

### 今回の調査における課題

### 改善の方向

#### 【領域】

・「話すこと・聞くこと」の平均正答率  
○全国平均を上回っている。

・「書くこと」の平均正答率  
□全国平均とほぼ同程度である。

・「読むこと」の平均正答率  
○全国平均を上回っている。

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率  
□全国平均とほぼ同程度である。



・話し合いの内容と資料の効果的な活用について理解すること。

・書くための材料として適切なものを取捨選択すること。

・図表の役割を適切に捉え、文章を理解すること。

・詩歌の表現技法の効果を踏まえ、内容を理解すること。

・目的を意識して話し合ったりする活動や、資料を提示して話したりする活動の充実。

・読み手の立場に立って材料を収集して書く活動の充実。

・文章と図表の対応関係や効果を理解する活動の充実。

・詩歌の表現技法とその効果を理解し、交流や表出する活動の充実。

《表現の意味》 全国平均正答率と比較して

○上回っている・・・+3.1ポイント以上

◇ほぼ同程度であるが、やや上回っている・・・+3ポイントの範囲内で全国平均以上

□ほぼ同程度・・・全国平均と同じ

◆ほぼ同程度であるが、やや下回っている・・・-3ポイントの範囲内で全国平均以上

●下回っている・・・全国平均正答率と比較して-3.1ポイント以下

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

- ・「数と式」  
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
  
- ・「図形」  
○全国平均を上回っている。
  
- ・「関数」  
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
  
- ・「データの活用」  
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。



- ・等式を目的に応じて変形すること。
  
- ・事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと。
  
- ・一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解していること。
  
- ・複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること。

- ・等式変形の重要性を感じられるよう、具体的な例題や実生活に関連した問題の充実を図り、段階的な演習を行う。
  
- ・実験や観察の機会を増やしたり、過程をより大切に振り返るために、ディスカッションや発表を行う。
  
- ・一次関数のグラフの動きを視覚的に学べるように、動的なグラフ描画ツールを活用する。
  
- ・実データを用いた分析活動をしたり、データの分布を箱ひげ図やヒストグラムで表し、視覚的に理解できるようにする。

《表現の意味》 全国平均正答率と比較して

○上回っている・・・+3.1ポイント以上

◇ほぼ同程度であるが、やや上回っている・・・+3ポイントの範囲内で全国平均以上

□ほぼ同程度・・・全国平均と同じ

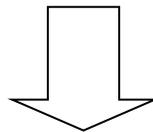
◆ほぼ同程度であるが、やや下回っている・・・-3ポイントの範囲内で全国平均以上

●下回っている・・・全国平均正答率と比較して-3.1ポイント以下

## 質問紙調査結果から



- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均に比べて上回っている。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均に比べて上回っている。
- 「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均を下回っている。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均を下回っている。



## 課題と改善の方向

全国学力・学習状況調査の平均正答数の結果は、国語科が道内平均、全国平均を「上回っている」、数学科はどちらも「ほぼ同程度」という結果でした。どちらも正答数1問以内の差となっています。今後、更なる向上に向けて各教科で指導方法や評価評定方法の改善に向けて取り組みたいと考えています。

また、他の教科も含めて、基礎学力の向上や発展的内容への取組、主体的な学習への取組等を重視していきたいと考えています。

質問調査用紙の結果からは、今年度の3学年は「人の役に立つ人間になりたい」の項目が全国平均を上回っているものの、「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」等の項目では全国平均を下回っており、将来に向けて、進路や自身のあり方を模索している様子が伺えます。

また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目が全国平均を上回っており、生徒たちの学校生活での前向きな気持ちを大切にしながら、生徒がより高い目標を目指していけるように育成していきたいと考えています。学習でのタブレット使用に関する項目については、全国・全道平均より下回る項目が多く見られます。授業内での適切な利用促進に努めるとともに、生徒たちのネットリテラシーの育成にも取り組んで参ります。今後とも本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。